



たかはし さゆり 議員
が町に問う！

LGBTQ

パートナーシップ制度導入は

答弁 比企地域連携で導入に向け検討中です

Q 性的少数者など、LGBTQのカップルを公的に認めるパートナーシップ制度は、県内市町で導入が進んでいるが、当町の進捗は。

A 総務課長 パートナーシップ制度を有効に運用し、制度利用者の利便性を高めるためには、広域で取り組むことが望ましいと考えています。比企地域で連携した導入に向け、検討を進めています。

Q 制度実施に向け、当町も準備を進めていると理解した。実施時期はいつになるのか。

A 総務課長 令和5年度のできるだけ早い時期に実施できるように取り組みます。

Q 実施された際、LGBTQは当事者にどのようなメリットがあるのか。

※令和5年4月1日から制度開始



当事者等の相談窓口を担う総務課



たかはし くにただ 議員
が町に問う！

地域の力

地域のボランティアに支援を

答弁 「検討チーム」を立ち上げました

Q 令和4年度の森林環境譲与税は主に何に使われたのか。

A 環境農林課長 木材普及啓発活動として、保育施設に町産材を活用した積み木を贈呈しました。また、小規模林業者への支援事業、未活用資金は「森林環境基金」に積立しています。

Q 比企地域の農業用ため池農法が「日本農業遺産」に認定されたが、森林環境譲与税を今後の活動に活用できないか。

A 環境農林課長 ため池や谷津田の整備は「日本型直接支払い制度」を活用し、支援していきたいと考えています。

Q 里山や森林の維持管理活動に限らず、地域の有志がボランティア団体を立ち上げ、地域課題の解決に向けて活動を続け成果を上げ



荒れた里山の再生に挑むボランティア

ているが、町はこうした自主的なボランティア団体を積極的に応援できないのか。

A 町長 「アクティブシニア」と呼ばれる皆さんがいろいろなボランティア活動を行い、地域に貢献しています。現在、そうした団体の支援策について「検討チーム」を立ち上げ、具体的な検討を始めています。



たなか てるこ 議員
が町に問う！

町の景観

モデル地区終了後の取組は

答弁 景観まちづくりの活動を継続します

Q 県の「歴史の道景観モデル地区」の今後と町の対応は。

A 都市政策課長 県の景観モデル地区事業は今年度で終了しますが、この取組は町の魅力創出の可能性を持ち、非常に有益であると捉えています。今後も引き続き、県やNPO法人の協力をいただきながら、景観まちづくりの活動を継続していきます。

Q 歴史的建造物の「和紙体験学習センター」の保存活用を。

A 生涯学習課長 当施設は、昭和初期の建物の様子を伝える全国的にも貴重なものです。令和元年に策定した「和紙の有効活用による町の活性化計画」において当施設は「産業文化の拠点」として位置づけ、職人の後継者育成・和紙を活用した製品の開発等を進めて



公民館活動と連携した住民との町歩き



いがらし やすひろ 議員
が町に問う！

稼げる地域

事業の継続に必要な支援を

答弁 意見交換を行い必要な支援につなげます

Q 「新しいチャレンジができる町」としてお店が増えていく流れを止めないために、どのようなことができるか。

A にぎわい創出課長 令和5年度当初予算において、空き店舗活用補助金の増額と、対象エリアや職種の拡大を提案しました。また、今までの例として、人と人のつながりの中で事業が発生していることから、情報交換や交流の場として、NESTOや旧上野台中学校のワークスペースを有効活用していきたいと考えています。

Q 事業が継続するためにも、何が重要と捉えているか。また、そのために必要な支援を。

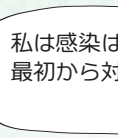
A にぎわい創出課長 事業の継続には稼ぎが必要です。そこできかに収益を上げてもらうかが非常



新しい挑戦で明るくなった駅前通り



免疫力をアップするために、長風呂、早寝早起きを実行します。
(H・Mさん 68歳)



私は感染はしないと思って、最初から対策はしていません。
(F・Mさん 72歳)



まだ心配なので、マスクとアルコール消毒は続けます。
(I・Yさん 72歳)



感染は心配ですが久しぶりの花見で盛り上がりました。
(Y・Sさん 78歳)

